



わたし、アナタ、min-na

No. 1

そのすがたがうれしい

2020年 4月 8日 市立札幌開成中等教育学校便り

〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1

TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629

HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

令和2年度の新学期を迎えるに当たって

校長 廣川 雅之

本日、令和2年度の新学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、始業式も入学式も例年通りに実施することはできず、特に入学式は、令和元年度の卒業式に引き続き、保護者の皆様や来賓の皆様の参加を見合わせていただくとともに、時間を短縮した形での実施とせざるを得ませんでした。しかしながら、久しぶりに全校生徒が揃う形で新年度を迎えることができましたことをとてもうれしく思っております。とはいえ、予断を許さない状況が続いており、引き続き、「うつらない」「うつさない」の感染予防に力を尽くさなければならないと考えています。

さて、本校では、全ての生徒が小学校から入学した新入生で揃う令和2年度を迎えるにあたり、学びの環境の一層の充実を図るため、いくつかの新たな取組を始めることといたしました。本来であれば、生徒の皆さんにも、保護者の皆さんにも十分に説明した上でスタートさせたかったのですが、臨時休業等の影響により、その時間を取ることはできませんでした。そこで、新たな取組の概要を『令和2年度からの学びの環境』というリーフレットにまとめ、2年から6年の生徒の皆さんには3月の分散登校の日に配付しました。また、新1年生の皆さんには明日以降のオリエンテーションの中で説明することとしています。この紙面においても、新たな取組の要点を説明させていただきます。

1点目は、国際バカロレア（IB）やスーパーサイエンスハイスクール（SSH）を活用した課題探究的な学習の充実を図ることです。火曜日から金曜日までの4セッション目に一部の授業を実施することで、5・6年のディプロマプログラム（DP）を履修している生徒を除き、月曜日午後の授業をなくし、生徒の皆さんと教員が学習や生活について相談できる時間と、より良

い授業づくりのための教員研修の時間を月曜日午後に設定することにしました。また、実験、観察、フィールドワークなどの活動やグループワークやレポート課題の作成、発表などの活動が多い課題探究的な学習の特徴を踏まえて、1セッションの時間について休憩時間を含まない100分とし、4セッション目に授業を実施した場合でも、16時40分に授業を終えることができるようにしました。なお、必要に応じて、授業中であってもトイレに行ったり水分補給をしたりすることができるように配慮します。

2点目は、生徒の皆さんと教員が学習や生活について相談できる時間を時程の中にしっかりと位置付けることです。学校生活を送る中で生まれた悩みなどをそのままにせず、すぐに相談できるように、基礎期、充実期、発展期の発達段階に応じて相談可能な時間帯を毎日の放課後に設けました。

3点目は、6年間の着実な成長を目指して、基礎期、充実期、発展期の学びの段階を踏まえた「期」ごとの活動を重視するとともに、基礎期、充実期については、IBの教育プログラムに基づく授業を実施するための学習集団である27人程度の少人数のチームを基本とし、チームごとに担任を置くこととしました。給食など40人単位で行う活動もありますが、それぞれの「期」の生徒の皆さんの見守りはチーム担任だけではなく「期」に所属する教員全体で行うこととしています。なお発展期については、従来通り40人のクラスを基本として学校生活を送ることになります。

こうした新たな取組には保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。今後も情報共有に努めてまいりますので、学校へのご支援をよろしく願いいたします。

International Baccalaureate (IB) とは

昨今、社会は急速な発展を遂げ、AI (Artificial Intelligence) が社会の一翼を担う場面が至るところに見られるようになってきています。近い将来、労働力はAIで代替され、多くの仕事が無くなるという予測がされています。これまでの日本の学校教育ではぐくまれていた力は、主に与えられた課題をミスなくきちんとこなす能力でした。問題に対する答えはある程度決まっていて、その答えを正確な処理によって導くという能力が社会で重宝されていました。ところがAIを主たる労働力とした社会においては、この能力はAIが代替していくことになり、人間は、AIにできないことを能力として身につけていく必要があります。数十年後に社会の主要な担い手となる現在の子どもたちは、どのような力を身につけていく必要があるのでしょうか。国際バカロレアは、正にこのようなAIができない能力をはぐくむことができるプログラムだと言えます。IBが授業を通してはぐくむ力は、知識を現実世界の文脈や他の学問領域とつなげる力（概念形成力）や、生涯学び続けるための学習の方法 Approaches To Learning (ATL)、そして、10のIB学習者像からなる人格の形成です。また、知識は歴史、文化、宗教等を背景として、世界中の様々な場所で意味や形を変える性質を持つことを理解し、生徒はそれぞれの文脈において最適な知識の構成の仕方を学びます。さらに、プログラム全体を通じて、行動に基づいた奉仕が非常に重要視されていることも大きな特徴の一つです。これは、学んだ知識は、地域や社会で活用することで初めて意味を成すという考え方に基づいています。このコラムでは、IBの魅力をわかりやすく伝えていこうと考えています。1年間どうぞよろしく願いいたします。

(IB コーディネーター 大西 洋)

令和2年度新職員紹介

今年度新たに15名の教職員が着任しました。新たな体制で、1年間一人一人の生徒を大切にしたい教育を推進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

氏名	教科等	前任校
阿部 紫乃	国語	札苗北中
藤沼 大地	国語	倶知安農業高
松井 均	国語	札幌旭丘高
名久井 修	国語	札幌新川高
小川 創生	数学	
道下 祥伍	理科	
大町 圭司	理科	

氏名	教科等	前任校
酒井 智史	理科	札幌新川高
細井久美子	理科	札幌藻岩高
五十嵐一樹	保体	札幌新川高
大西 真司	保体	札幌藻岩高
篠崎 亮子	英語	東白石中
三上 全	英語	札幌清田高
佐々木大輔	情報	札幌大通高
西村 香代	養教	稲穂中学校